

外国語活動・英語科実践①小学校 第3学年 アルファベットとなかよし4時間

目標：活字体の大文字を意識し、文字の読み方に慣れ親しみ、誕生月の表を作成することを通して自分の姓名の頭文字を伝えようとする。

| 時 | 学習活動の概要 | 指導上の留意点 |
|---|--|---|
| ① | <p>(ねらい) 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付き、文字の読み方を知る。</p> <p>・教室や松江市の町中にある身の回りにあるアルファベットを見て、どこに使われているかを考える。</p> <p>「見たことがあるかな?」「どこにあるかな?」</p>  <p>「給食のゴミを入れる袋の箱に書いてあった。」 「パーキングのP」 「見たことがある。Yだよ!」 「電気屋さんの名前の頭文字が書いてあるね」 「筆箱の中にもないかな?」 「鉛筆にも」「ノートにも」</p> | <p>○アルファベットの大文字で、一文字を探し提示する。</p> <p>○何気なく見ているけれど身の回りにはたくさんのアルファベットがあることに気付く。 ○町中には単語の頭文字が一文字で表してあるものがたくさんあることに気付く。 ○単元のゴールは自分の名前の頭文字を集めネームプレートにするのでそのことを意識し、頭文字がアルファベット一文字であらわされていることに意識させる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>POINT 1 机の中や筆箱の中に いっぱいあるよ!</p> </div> |
| | <p>活動を通して単元のゴールを明確にし、活動の見通しをもつ</p> | |
| | <p>・似ているアルファベットを見つけたり、アルファベットクイズを行ったりしながらアルファベットを知っていく。活動を通して単元のゴールを明確にしていく。</p>  | <p>○クイズの中には前単元で既習している“What~do you like?”の活動を使いながら自然な形で既習事項をインプットしていく。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>POINT 2 自分の名前の頭文字や友だちの 頭文字がよめるようになりたい。</p> </div> <p>○単元のゴールは自分の名前の頭文字を集めて紹介し合い、お誕生日ごとの学級掲示をすることを知り、主体的な学びに繋げる。</p> |
| | <p>アルファベットの形の認識をしていく。</p> | |
| | <p>・アルファベットブロックを使用しながら、アルファベットの形を認識していく。</p>  | <p>○感覚や視覚的に捉えやすいようにブロックを使用する。 ○シートに書いてあるアルファベットの上に形を確かめブロックを置いてから行う。 ①形を捉えながらブロックを置く。 ②子どもたち同士でアルファベットを隠し、何のアルファベットかあてる。 ○アルファベットサファリシートは動物の英語の言い方で頭文字が動物に化けていて、こ</p> |

②
③

・アルファベットチャンツを行う。



・体をしっかり動かして、口もしっかり動かしてリズムに合わせて楽しく行う！

・デジタル教材を使ってアルファベットの認識をする。
文部科学省から出ている“Hi, friends! Plus”を使いながらアルファベットクイズをする。

My initials

M.S.



Who is this?



・校内の先生のイニシャルクイズをする。

MITSUGIRI

SETSUO



- ・アルファベットカルタ取りゲームを行う。
- ・アルファベットビンゴゲームを行う。
- ・アルファベットブロッククイズを行う。



の単元のゴールへと繋がるようになってい
る。また、手の中にアルファベットブロックを隠
すだけの単純なゲームであるが形の認識に
は良い。

○2,3 時間目は言葉への慣れ親しみであり、
様々な活動を通して、単元のゴールへと向か
う。指導していく際には常に「自分のイニシ
アルを紹介する」ということを意識して単なる
ゲームにならないようにする。

○アルファベットチャンツにはさらりと触れて
いる。毎時間の始めにチャンツを行うことで
アルファベットに慣れ親しんでいく。

○中学年における外国語活動は口と体をしっ
かり使って体中で言葉をインプットしていく
のに適している時期である。

○板書はアルファベットチャンツが行いやす
いように掲示する。

○子どもたちに親しみのある先生方のク
イズを出す。

○“Hi, friends! Plus”の文字の認識

「クイズ 3 アルファベット文字当て懐中電
灯」
「クイズ 4 アルファベット文字当て何の文
字かな」は 3 年生の子どもたちにはちよ
うど良い教材である。

POINT 3

だれのイニシャルか分
かってきた。

○黒板掲示と同じ小さなカードを15セット
用意しておき、ペアで活動を行ったり、グ
ループで活動を行ったりする。

○1時間目に行ったブロッククイズは毎時
間行いながら、実際に形に触れる時間を
確保する。

④

(ねらい) 自分名前の頭文字を紹介し合おう。

・あいさつをし、指導者から名前プレートを
もらう。名前プレートをもらう際、指導者
から英語で質問されたことに答える。



○あいさつの後に名前プレートを渡す。ロー
マ字と英語の名前の書き方が違うことを
前時に話しておく。子どもからの質問に
丁寧に答える。

○既習事項を用いて指導者は質問する。
“What color do you like?”等子どもに合
わせて質問する。

○一人一人とのコミュニケーションのやり
とりを丁寧に、素早く行う。

○リズムよくスタートする。

○デモンストレーションをしっかり行い、
英語でのやりとりが行えるようにする。

- アルファベットチャンツをする。
- 自分の名前の頭文字を指導者の所へもらいに行く。
 “Hello!”
 “～,please.”
 “Here you are.”
 “Thank you.”
 “You’re welcome.”
 “Bye-bye.”



- 自分の名前の頭文字を紹介し合う。
 “Hello!”
 “My initials Y.Y.”
- Who is this?クイズを行う。
 “My initials ○○, Who is this?”
 “～さん?”
 “O. K!”
- ワークシートを見ながらだれのイニシャルなのか考えながら活動を行っていく。
- 全員のイニシャルを黒板に掲示し単元のゴールであるお誕生日表を掲示する。既習事項の数を使って数える。



POINT4
わたしのイニシャルは○と○

- カードのイニシャルはあえて書かずに渡す。ないイニシャルを指導者のところへ取りに行くような仕掛けをする。
- ワークシートに全員分のイニシャルを書いておき,紹介し合う一助とする。
- ワークシートを基にしてクイズを出すことにより,さらに学びを深める。
- クラスのお誕生日表をつくるという単元のゴールの明確化を図る。
- 自分のアルファベットが相手に伝えられるように,子どもが発話するフレーズが難しくならないようにする。
- ワークシートに記入して次の活動につなげる。
- ワークシートを見ながらだれの名前の頭文字か当てる。一緒にアルファベットの音を発話する。
- 単元のゴールであるクラスの誕生日ごとの表ができあがることを伝え達成感をもたせる。

【評価の観点 (コミュニケーション)】

自分の姓名の頭文字を伝え合おうとした。(評価方法 発言・行動観察・ふりかえりパスポート)



POINT5
自分のイニシャルがよくわかった。クラスのみんなのイニシャルがわかった。

- クラス全員の名前がそろったことで,誰もが一人もかかせることのできない友だちであることや,大切な命であることを共有し,アルファベットを使ってあらわすことで,様々な国の人と言葉を共有できることを確認する。

～ポイント解説～

POINT 1 机の中や筆箱の中にはいっぱいあるよ。

3年生で初めてアルファベット文字を題材とする単元である。1 時間目では、アルファベットの大文字を知り、その読み方を知ることがをねらいとしている。身の回りにはアルファベットの大文字の表示がたくさんあることを知り、普段の生活の中で何気なく使っていることにも目を向けたい。視聴覚機器を使い、クラスの中にある様々なアルファベットを映し出す。3年生の発達段階を考え、言葉の頭文字のみを写しだし、単元のゴールにもつなげる。



クラスにしかない掲示物を映し出し、興味をもたせる。そのあと、町の中にあるアルファベットを映し出す。子どもたちは見たことがあり、すでに「パーキングのP」「知っている。あそこにあった！」と反応をしめしていた。



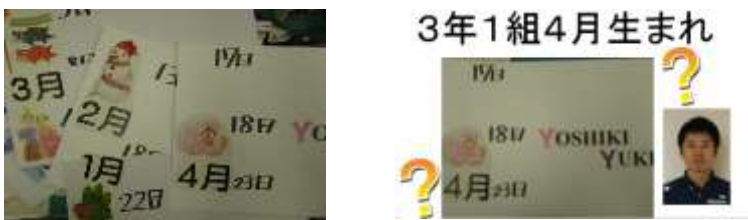
POINT 2 自分の名前のイニシャルが読めるようになりたい

単元のゴールを明確にし、活動の見通しをもつために、学級担任のクイズを出す。ここも視聴覚教材を用いながらクイズを行っていく。既習事項である“I like～.” “Who am I?”というクイズを出す。前回の単元では好きな色、好きな食べ物、好きなスポーツ、好きな飲み物を紹介し合うために“What ～do you like?”のフレーズを学習している。このフレーズを使って先生方にインタビューをしている。その学習で行ったことをクイズに出したり、先生クイズを行ったりする。その時に単元の終末で行うイニシャルの紹介と同じようにすることで単元の見通しをもつ。

| | |
|---|--|
| I like ～. | Who is this? |
|  |  |
| OSHIKI UKI |  YOSHIKI YUKI |

誕生日は4月の人

単元のゴールでは誕生日表も作成することから、誕生日もクイズに交えながら行った。



「やってみよう！」と思わせたり、単元のゴールを明確にしたりすることは、子どもたちが主体的に学びに向かうことでとても大切なことである。1時間目のふりかえりには次のような記述が見られた。

今日はアルファベットのべんきょうをしました。どうぶつの上にアルファベットをおいて、ゲームもしました。自分の名前のもやってみよう。

POINT 3 だれのイニシャルはわかってきた。クラスみんなのイニシャルがわかった

様々な活動を行いながらアルファベットの形の認識、アルファベットの音に慣れていく。

①チャンツ

毎時間の始めにリズムの良いチャンツを行う。3年生の発達段階に合わせて体中で表現できる、口ずさみやすいものを選ぶ。足踏みしたり、体をくねらせたり、指を鳴らしたりしながら曲を体全体で音を感じながら行う。

②カードを使って

小さなカードを使って活動を行う。カルタ取りゲーム、記憶力ゲームをする。ビンゴゲームを行う。2、3時間目のふりかえりには次のような記述が見られた。

今日は、アルファベットをしました。ゲームをしたりたくさん言ったりしてアルファベットになれることができて良かったです。

今日はカルタ取りゲームと記憶力ゲームをしました。かるたは、2つのアルファベットがむずかしかったし、きおくりよくげーむはYとIがまちがえそうでした。でも、楽しかったです。友だちのアルファベットも知りたいです。

「何のためにこの活動を行うのか」という意識を常にもつためには、めあてとふりかえりを丁寧に行う。めあてをただ提示するのではなく、子どもたちの意見からひきだしていく。ただ単にゲームをする、歌を歌うのではなく、指導者は、目的を明確にして授業を子どもとつくるというスタンスを大切にしていきたい。



チャンツで体を動かす様子



キーワードゲームの活動の様子

POINT 4 わたしのイニシャルは〇と〇

単元の終末である 4 時間目の授業では、今まで慣れ親しんできたアルファベットを使って自分の頭文字を名札にはっていく活動を行う。そのあとにお互いの頭文字を紹介し合う。名前表にはるカードは” Let's



Try !”の新教材の巻末にあるカードを印刷して使用する。この新教材のアルファベットは発音により色わけしており、これからのアルファベットの学習にはとても必要である。



指導者はどうやって自分のイニシャルをもらうのかデモンストレーションを行い、英語でのやりとりを通して自分のイニシャルをもらいカードを作成する。

パソコンで使用するフォントによってアルファベットには様々な形があり、特性のあるお子さんについては特に混乱を招く。アルファベット教材の作成は慎重に行う。



POINT 5 みんなのイニシャルがわかったよ

紹介し合うときはワークシートを使用する。クラス一人一人の名前が書いてあるワークシートであり、まだ文字の書けない子どもたちにとっては使用しやすい。子どもたちはこのワークシートを見た瞬間に、クラスの友だちの名前があることに気づき、「名簿順だ」という声も上げていた。

イニシャルをしようかいしあおう。
名前(おたがな)をうら

| イニシャル | IDM | 名前 | イニシャル | IDM |
|-------|-----|-------|-------|-----|
| K.K | ○ | かとうまな | T.T | |
| A.M. | ○ | あづまけい | T.T | ○ |
| E.J. | | | N.H. | |
| I.M. | ○ | いわたし | H.H. | |
| O.V. | | | F.K. | |
| K.M. | | | F.T | ○ |
| K.Y. | | | F.R | |
| K.Y. | ○ | かみゆう | F.H. | ○ |
| K.H. | | | M.T. | ○ |
| K.H. | | | M.K. | ○ |
| B.S. | | | M.K. | |
| S.M. | | | V.O. | ○ |
| S.H. | | | Y.H. | |
| S.K. | ○ | せんだゆう | Y.Y. | ○ |
| | | | H.M. | ○ |

・自分の名前の頭文字を紹介し合う。

“Hello!” “My initials Y.Y.”

・Who is this? クイズを行う。

“My initials ○○, Who is this?”

“～さん?”

“O.K!”

紹介し合った後は、指導者“Who am I?”とクイズを出し、ワークシートをもとにしながら、だれのイニシャルか発表する。1時間の活動の中で、話すこと、聞くことをくり返し行い、自然な形で子どもたちがアルファベットに親しんでいけるようにする。



最後に自分たちのカードを誕生日ごとに黒板に貼っていった。クラス全員の名前の札が黒板に貼られるとさすがに、子どもたちはうれしそうであった。1時間目のはじめに、「誕生日が知られるのはいやだ」と言っていた子どもも、自分から進んで黒板に出ていた。そして、何よりもクラス全員の名前が集まり、学級担任がクラスの仲間の大切さを語ったことが、この単元の良さである。普段名前を呼んでいる友だちのイニシャルを知り、誰にでも大切な誕生日と関連させたことは、学級作り、そして英語を通して言葉の大切さを知ったのではないだろうか。

4 時間目のふりかえりには次のような記述が見られた。

- ・今日は自分のイニシャルを紹介しました。わたしのイニシャルは Y.K でした。誕生日は 7 月です。ともだちのイニシャルもわかってよかったです。
- ・今日は自分のイニシャルをみんなに紹介しました。イニシャル屋さんでイニシャルをもらってつくったあと、みんなに紹介しました。でも、みんなのイニシャルも知れて良かったです。

成果と課題・教科構想に基づいて本実践を振り返る

3 年生になり、4 月から外国語活動を行っている子どもたちは新しく出会う英語を使って、楽しく友だちとコミュニケーションをとっている。指導する際も英語を使って「伝えられた」「できた」というコミュニケーションの場面設定を大切にしている。また、英語を使ってできた達成感を感じるように、単元の内容を子どもたちにあわせて考えながら外国語活動を行っている。本単元では、アルファベットを題材に行った。新学習指導要領では(1)英語の特徴やきまりに関する事項(イ)において現在行われている中学校の文字指導が小学校の指導となる。小学校の指導要領では(ア)活字体の大文字,小文字,とある。3年生の子どもたちにとって無理なく英語を使って「できた」という達成感を感じるために以下のような手立てを行いながら授業を構成していった。

相手意識や目的意識が明確になる単元構想の工夫

自分の名前のイニシャルカードを英語でやりとりしながら指導者から集め、紹介し合った後に誕生日カレンダーにした。最終的には紹介し合い、学級に掲示するという相手意識や目的意識を単元の導入でもてるようにする。主体的に学習を進めていくために単元のゴールを明確にすることを大切にしたい。

既習事項を用いて「その場で考えて伝え合う」活動の設定

本単元のゴールである誕生日の掲示物を作成するために、指導者とイニシャルを伝える活動を設定した。さらに、英語を使えた充実感を得るためにはそれまでの慣れ親しみの活動を十分に行っていく必要がある。今回はアルファベットの音声にしっかり慣れ親しませ単元の終末でコミュニケーションを図る活動を行ったことで、アルファベットの形の認識や、アルファベットの音に親しませることができた。

主体的な学びにつなげる見通しとふりかえりの工夫

目標となるイメージをもたすために教員のイニシャルや誕生日を使ったモデルを示した。このことで見通しをもたせることができた。また、アルファベットは身の回りにたくさん使われており、パワーポイントを使って、身近な題材を導入時に使用することで、自分たちの生活と密着していることに気づき、もっと「読みたい、知りたい」と興味をもち活動を行っていた。本校では「ふりかえりパスポート」を使用し毎時間の活動のふりかえりを行っている。「何ができたか、何ができなかった、次はどうしたい」のか自分をしっかりふりかえり、授業に主体的に望んで欲しいと考えている。教師側は一人一人のふりかえりパスポートを点検・分析することで個々をとらえ指導にいかしていく。このふりかえりを活用しながら、授業と授業をつなげ、子どもたちから言葉を引き出し、子どもが主体的に授業をつくるのが大切であると実感している。

(加藤 君江)



アルファベットのなまよし ～ Our birthday month ～
 学年 組 No. 氏名 (Name) Kd ho
 今日の日付

| 聞く | 話す | 読ませ |
|------------------------|---|-----|
| 身のまわりにあるアルファベットの形や音の練習 | ○ | ○ |
| アルファベットの音に慣れよう | ○ | ○ |
| アルファベットを音に慣れよう | ○ | ○ |
| 自分の名前のイニシャルをしようかい各組 | ○ | ○ |
| 今日のふりかえり 11月24日 | 今日、アルファベットの音、音を覚えた。どうやって覚えたのか、アルファベットを音に慣れよう。自分の名前を覚えておきたい。 | |
| 今日のふりかえり 12月1日 | 今日、アルファベットの音、音を覚えた。どうやって覚えたのか、アルファベットを音に慣れよう。自分の名前を覚えておきたい。 | |
| 今日のふりかえり 12月7日 | 今日、アルファベットの音、音を覚えた。どうやって覚えたのか、アルファベットを音に慣れよう。自分の名前を覚えておきたい。 | |
| 今日のふりかえり 12月15日 | 今日、アルファベットの音、音を覚えた。どうやって覚えたのか、アルファベットを音に慣れよう。自分の名前を覚えておきたい。 | |